

## グリーンフラッグ 1月の活動

### ～グリーンフラッグのもとに～

2019年1月8日に3学期がスタートしました。

短い学期ですが、その間にはたくさんの行事があります。グリーンフラッグの再認証もそのひとつです。冬の澄み切った青空のもと校旗とグリーンフラッグの旗がはためいています。

このグリーンフラッグは、環境委員会の子ども達が毎朝掲揚します。この旗のもとで、子ども達のエコスクール校としての環境に対する思いを乗せて風にはためいています。



### =グリーンフラッグ再認証向けの審査=

1月31日（木）の昼休みにエコスクール校として与えられるグリーンフラッグの再認証に向けた審査が行われました。審査員は、「FEE JAPAN」の事務局と厚木市の環境政策課から3人の方がお見えになりました。

始めに、相川小の1年間の活動について各委員会の6年生の代表者が、各学年の取組や地域との連携については4年生と5年生の環境委員会の子ども達が発表しました。2年に一度の審査とあって、どの子も緊張した様子でした。

発表が終わると審査委員の皆さんからの質問が始まります。子ども達の発表がスムーズだったので、15分で終わりました。そのため45分間が質問時間となりました。グリーンフラッグの審査は、大人や教職員が口をはさむことが許されません。子ども達が質問をよく聞いて答えていくのです。審査員の方から、「自分たちが知っていることを話してくれればいいこと、分からないときはわからないと言っていいです。」と言われると、少し気持ちもほぐれたようです。「この取り組みはだれが決めたものですか。」「失敗したことを話してください。」などたくさんの質問についてよく考え、手を挙げて丁寧に答えることができました。

「春みつけ」「秋みつけ」の時に自分達の考えをまとめているという活動をしていました。その中で養われた力が発揮できたように思います。審査に参加した子ども達にとって貴重な体験になったことと思います。子ども達の態度や発言が素晴らしく誇らしく、思いました。

結果は、2月の終わりに郵送で来るようです。



### 2019年のエココード(環境宣言)

2019年度のエココードは、「広めて守ろう！みんなの自然」となりました。昨年度の活動を振り返り、今年は、昨年学んだことを「学んだ」で終わらせないこと、今まで、遊んできた「相川の森」があったことを広めることで、感謝の思いを伝えたいとの思いからです。これまで以上に自分たちのエコスクール校としての活動を広めていければと思います。